

大町市中心市街地活性化基本計画（第3次計画）体系図

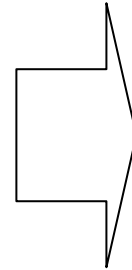
<中心市街地活性化に向けた現状と課題>

1. 課題

- (1) 定住人口の減少
- (2) 少子高齢化の進行
- (3) 大火災害跡地など未利用地の増加による商業機能の低下
- (4) 商店街としての魅力の低下による来街者の減少
- (5) 資産価値の減少から商業機能を低下させる地価の下落
- (6) 事業主の高齢化や後継者不足による空き店舗の増加
- (7) 市街地生活者のための都市基盤や都市福祉施設の不足

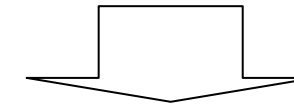
2. 第2次計画の総括と評価

- (1) 継続事業の見直し
- (2) 新規事業の厳選
- (3) 戦略的な活性化対策のための事業構成の見直し
- (4) 協働による取り組みのための役割分担の明確化



<基本的な方針>

1. まちづくりに向けた人づくりを推進する
2. 多様な主体の参加と活動により、地域文化・地域コミュニティを振興する
3. 多くの人が訪れたいまちづくりのために、地域資源の活用と積極的な情報発信を推進する
4. 商業活動を盛んにするために、商店・商店街の個性の創出を促進する
5. すべての人にやさしく、安心・安全で利便性の高い快適な住環境づくりを推進する



<中心市街地活性化の目標>

- 目標①:** 大町市や当市の中心市街地の知名度を向上させる情報発信を積極的に行います。そして、大町の中心市街地固有の歴史的・文化的・自然的資源と整備された都市基盤や集積された都市機能等を有効に活用するとともに、市民と観光客などの来街者の利便性を向上させ『訪れたいまち』を目指した中心市街地づくりを進めます。
- 目標②:** 中心市街地の商業者が主体となって、大型店との差別化を図る個性ある個店・商店街づくりを進めるとともに、商店同士、商店街同士の連携や観光施設や各種イベントなどとの連携を強化することと、お客様を気持ちよく迎えるための「おもてなしの心」を醸成するとともに、お客様の要望を満たすことによって、街を訪れる多くの人たちが、買物や食事をする『買物したいまち』を目指した中心市街地づくりを進めます。
- 目標③:** 都市機能がコンパクトに集積し、全ての人にやさしいユニバーサルデザインのまちづくりを進め、快適で安全・安心に暮らすことのできる住環境づくりが重要です。また、地域文化や地域コミュニティの振興の取り組みを通じ、地域への愛着が感じられる潤いのあるまちづくりを進めるとともに、まちなか居住の支援を行い、多くの人々が住みたくなり、住み続けたいような『住みたいまち』を目指した中心市街地づくりを進めます。



<目標を達成するための施策・事業>

まちなか再生全般に関する 施策・事業

1. まちなか情報発信事業
2. 「(仮称) もてなしの心あふれるまちづくり」事業
3. 地域文化を活かしたまちなか再生事業
4. 大町ブランド活用事業
5. おおまち食文化活用事業
6. 「商人塾」、「おお！まちゼミな～る」等研修会、研究会、イベント開催事業

目標①に関する 施策・事業

1. バス停留検討事業
2. まちなか案内板・案内サイン工夫事業
3. 「(仮称) まちの明かりプロジェクト」開催事業
4. 商店や町屋を活用した「まちなかギャラリー」活用事業
5. まちなかスタンプラリー開催事業
6. 既存まちなかイベントグレードアップ事業
7. 新規まちなかイベント創造事業

目標②に関する 事業

1. 買物支援事業
2. 空き店舗活用事業
3. ワンコイン・サービス・セール開催事業
4. (仮称) 大町らしさを活かした一店逸品運動推進事業

目標③に関する 事業

1. まちなかユニバーサルデザイン事業
2. 定住促進事業